

## 阪神大震災から21年

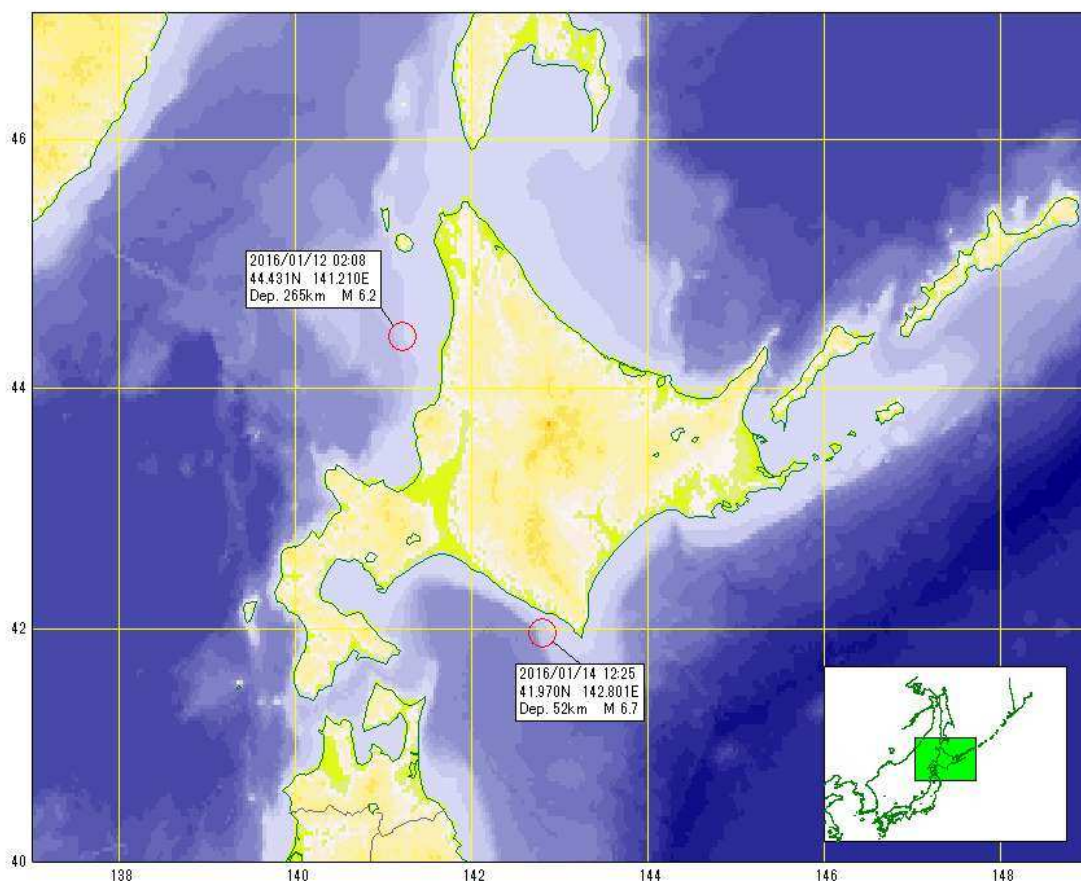
1月17日は阪神大震災から21年の記念日でした。そして今年の3月11日で東日本大震災からも満5年となります。それ以降、日本では都市部を直撃する地震は発生しておらず、我々は非常に幸運な時を過ごしてきたと考えています。

2015年は火山活動の話題の多い年でしたが、地震活動はかなり静かな一年となりました。我々は地震予知を目指して研究を続けてまいります、まだ確度の高い短期・直前予知を行う事はできません。まずは被害を発生する阪神クラス（マグニチュード7クラス以上）の地震予知を目指して研究を続けていく所存です。

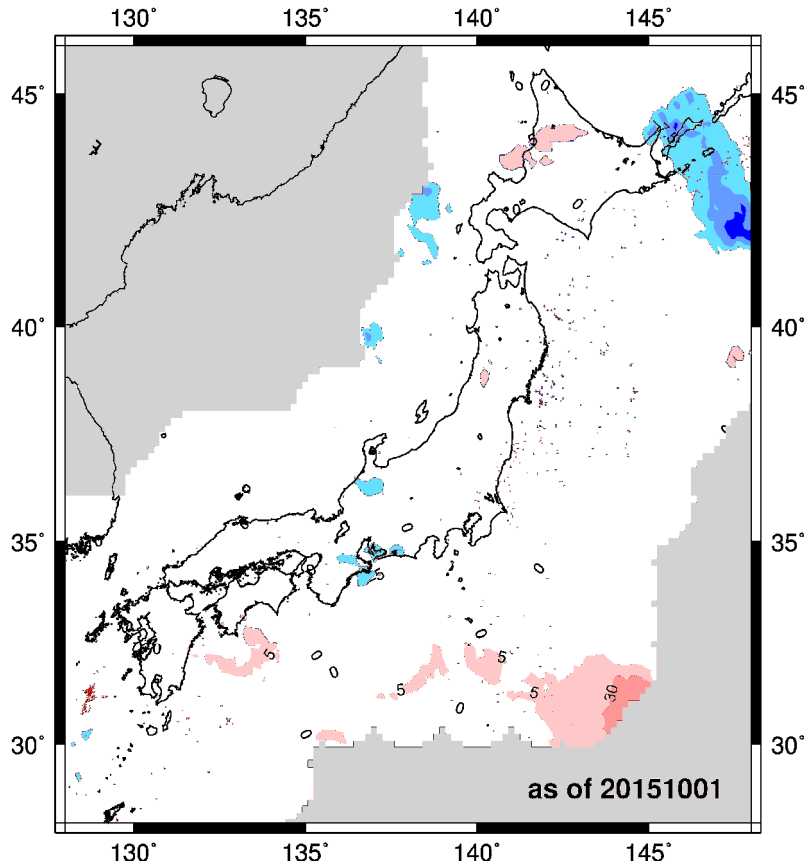
## 北海道周辺の地震活動の様相が急変しています

昨年9月28日のニュースレターで日本全域の解析を行いました。その時には、1) 日本海秋田沖の地震活動静穏化が消滅、北海道東部での地震活動静穏化が進行中という事をお伝えしました。その後の状況を解析してみると、北海道周辺で非常に急激に地震活動が変化している事が判明しました。

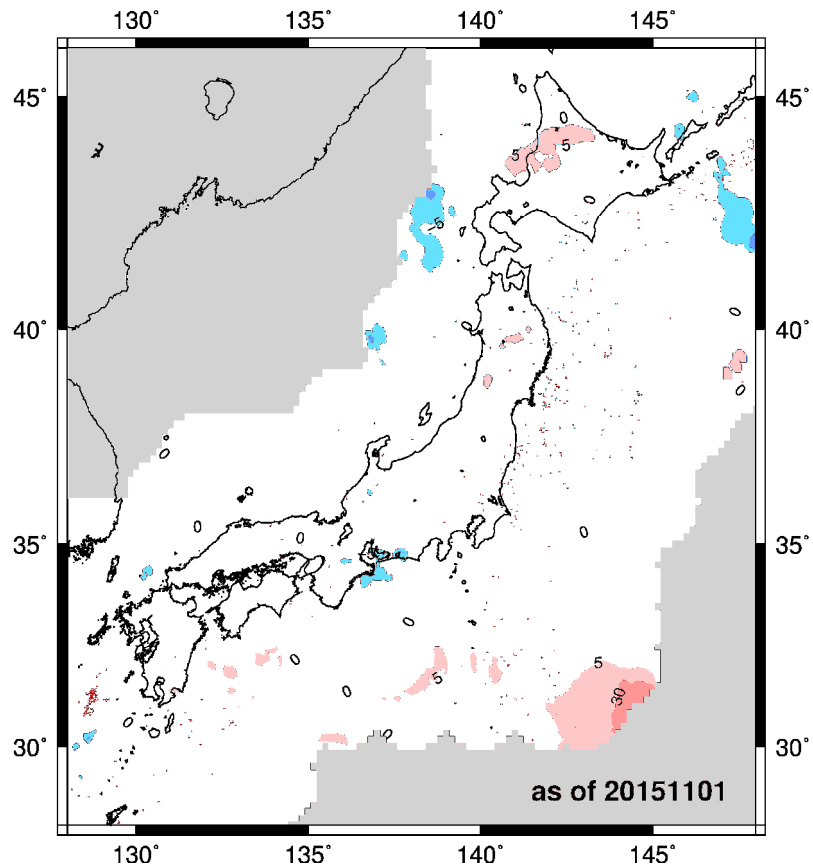
実際、今年に入り、2個のマグニチュード6クラスの地震が発生しています（1月12日（これは深発地震）、1月14日浦河沖）。



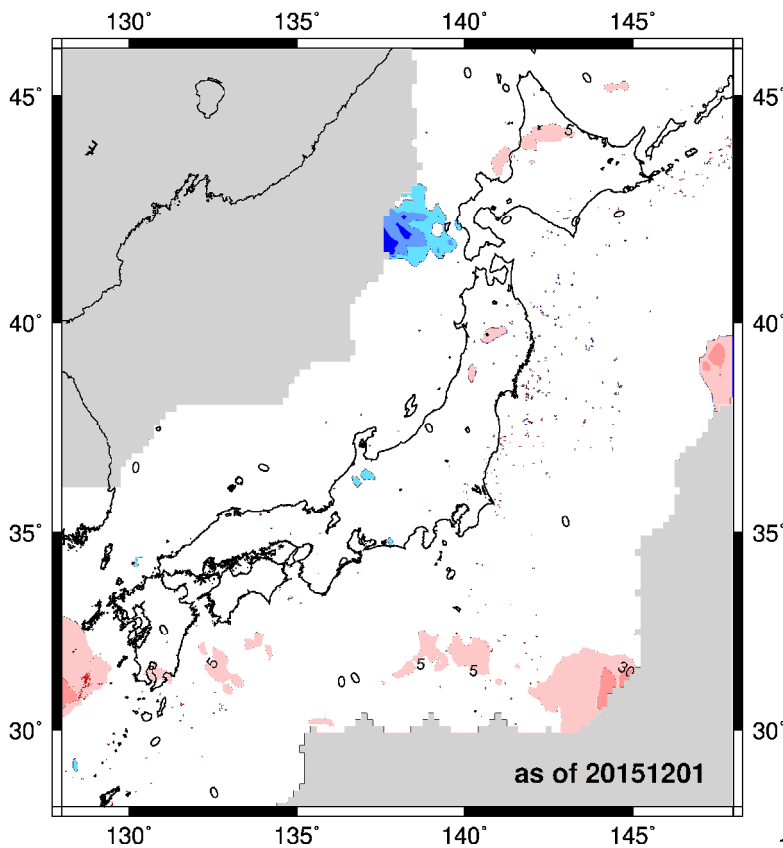
また地下天気図の解析では、次ページに示しますように、ここ数か月で大きく様相が変わってきています。



2015年10月1日時点の地下天気図。9月28日にお送りしたニュースレターとほとんど変化なし。

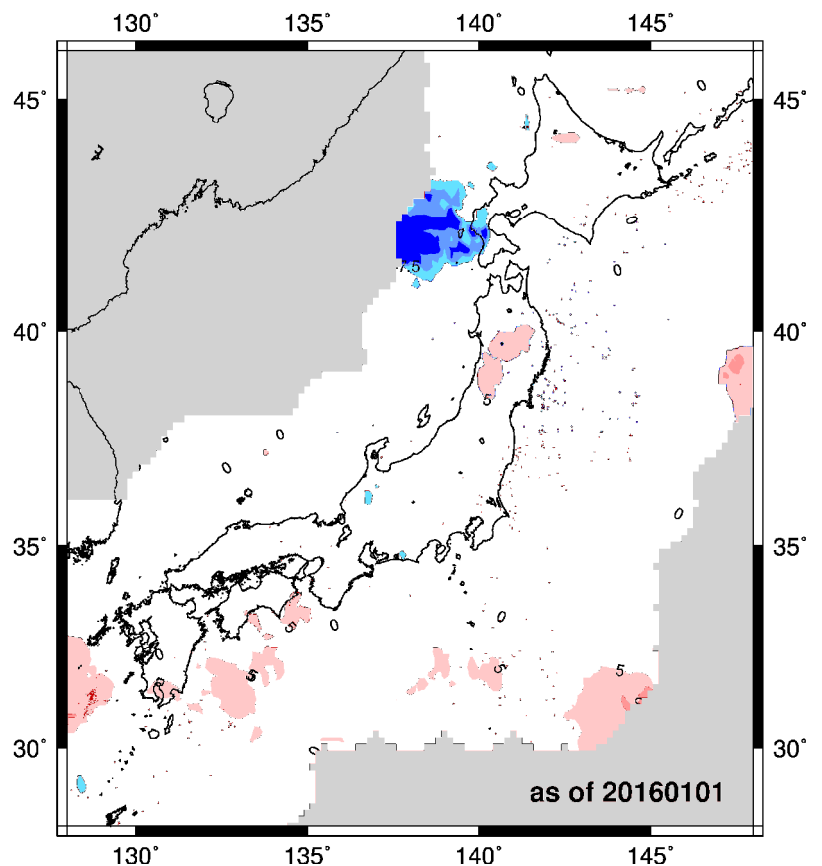


昨年11月1日時点の地下天気図。北海道東部の異常が消えつつある。また北海道西方海域で地震活動静穏化（青い領域）が広がりつつある。



昨年12月1日時点の地下天気図。北海道西方海域で地震活動静穏化（青い領域）が顕著となる。

2016年1月1日時点の地下天気図。北海道西方海域で地震活動静穏化（青い領域）がさらに顕著となる。



これらの事から、昨年9月28日のニュースレターでも解説しておりますが、1) 秋田県沖での地震、2) 今回の情報から釧路・根室周辺での地震、3) 北海道西方沖での地震（これはまだ発生しない：青い領域が消えてからの可能性が高い）が今後考えられます。それ以外の日本各地にはM7を超えるような地震活動が発生するような異常は地下天気図の解析では得られていません。